

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 25 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 10 月 8 日 作成

事務事業名	合志町土地改良区・西合志町土地改良区維持管理支援事業			<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり	所属部	産業振興部	課長名 渡邊直美
	施策	11	農業の振興	所属課	農政課	担当者名 立山和文
	基本事業	32	経営力の強化・生產品の価格安定	所属班	農地整備班	(内線) 1163
				法令根拠		

予算科目	会計 1	款 6	項 1	目 12	事業連番 10264	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果 8	コスト削減優先度評価結果 6*11
------	------	-----	-----	------	------------	----------------------------------	-----------------------------------	-------------	-------------------

事業期間 単年度のみ 単年度繰返(開始年度 年度) 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
・県営パイプライン配水管の漏水事故に対する共同対応。

【業務の流れ】
・年間平均60件発生する漏水事故時に、止水、修理の立会い、通水作業。

【主な予算費目】・6-1-12-3 時間外手当にて対応。

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) ・20年度実績と同じ。
① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 業務の内容に同じ。		
	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	ア 漏水業務に関わった時間 h → イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 ・受益農家	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)	ア 受益農家数 戸 → イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・人為的な漏水事故が減少する。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)	ア 人為的な原因の漏水事故/全漏水件数 % → イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) ・安定した収入を確保できる。	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位)	ア 生産農業所得(認定農業者一戸あたり) 円 → イ

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限定 複数 年度 のみ 記載) 0 0 0	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	260	250	121	102	176	176		176
	(A) 事業費計	千円	260	250	121	102	176	176	176		
		うち指定経費	千円								
		うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費	正規職員従事人数	人	5	4	4	4	4	4		
	延べ業務時間	時間	1,020	900	800	800	750	750			
	(B)人件費計	千円	4,049	3,582	3,184	3,184	2,985	2,985	2,985		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	4,309	3,832	3,305	3,286	3,161	3,161	3,161		

活動指標	ア h	1020	950	900	900	850	800	750	目 標 数 計 画 22 年 度
対象指標	ア 戸	700	700	700	700	700	700	700	
成果指標	ア %	75	70	70	70	70	70	70	
上位成果指標	ア 円								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
・平成9年に菊池台地用水が通水され、維持管理業務が始まっている。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
・作付け体系の変化と農業機械の大型化に伴い、人為的な漏水事故は微増傾向にある。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
・事故をおこして迷惑をかけたと言われる。
・一方で水が来ているからこそ、事故が起き迷惑している主旨で不満を言われる。

事務事業名	合志町土地改良区・西合志町土地改良区維持管理支援事業	所属部	産業振興部	所属課	農政課
-------	----------------------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ ・農業振興の観点から土地改良区運営費負担軽減が図られている。 ・農家経営が安定する。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ ・土地改良事業は農家・公共団体の仕事であり、関係農家の負担を軽減し、後継者の育ちやすい環境をつくるのは、市がおこなうことは妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ ・市内2つの土地改良区に対する支援事業であり、他に類似団体も無く対象・意図とも妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ ・地元水利組合に維持管理を担ってもらう方向性で進んでいくことにより、人為的な漏水事故が減る余地があるため、成果の向上余地がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ ・地元水利組合に維持管理を担ってもらう方向性で進んでいくことにより、人為的な漏水事故が減る余地があるため、成果の向上余地がある。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ ・他に類似事業がない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ ・地元水利組合に維持管理を担ってもらう方向性で進んでいくことにより、人為的な漏水事故が減ることが期待でき、事業費の削減余地がある。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ ・地元水利組合に維持管理を担ってもらう方向性で進んでいくことにより、人為的な漏水事故が減ることが期待でき、人件費の向上余地がある。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	・有効性、効率性ともに、地元水利組合に維持管理を担ってもらう方向性で進んでいくことにより、人為的な漏水事故が減ることが期待でき、成果の向上余地がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	・有効性、効率性ともに、地元水利組合に維持管理を担ってもらう方向性で進んでいくことにより、人為的な漏水事故が減ることが期待でき、成果の向上余地がある。																								
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上	○			維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上	○																							
	維持																								
	低下																								

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

・現在は、土地改良区と市が協同、主導で維持管理をほぼ一元管理で行っており、事故が多発する時期においても水管理ができていますが、パイプラインの水利系統を熟知しつつ維持管理を地元水利組合に行ってもらえないと、実際の維持管理を任すに任せられない恐れがある。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	2	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	7	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)